

# MULTI



国立大学法人  
長崎大学  
NAGASAKI UNIVERSITY

多文化社会学部シンポジウム

# 「多みんぞくニホン」 のかたち 多文化「共創」社会の実像

# ethnic

2017

# 7/28

金

会場 / 文教スカイホール (長崎大学 文教キャンパス)

時間 / 14:30~17:50

入場  
無料

# Japan

佐川恵賢著  
「長崎出島之図」  
(長崎大学附属図書館  
経済学部分館蔵)



主催 / 長崎大学多文化社会学部  
共催 / ワンアジア財団寄付講座  
長崎大学重点研究課題 「リスク社会」を生き続けるための人文社会科学の超域的拠点形成

## 多文化社会学部シンポジウム



国立大学法人  
長崎大学  
NAGASAKI UNIVERSITY

# 「多みんぞくニホン」 のかたち 多文化「共創」社会の実像

開催日時／7月28日(金) 14:30~17:50

会 場／文教スカイホール(長崎大学 文教キャンパス)

グローバル化時代における人・モノ・情報の流れはますます活発化すると言われてきたが、昨今のイギリスのEU離脱とアメリカ新大統領の誕生からうかがえるように、そうした流動性に反する動きが顕在化してきている。なかでも移民問題の政治化や移民への批判的な眼差しが大きな論争を呼び、他者との共生社会構築に向けた取り組みは、喫緊の課題として再び問われるようになった。もちろんこうした移民問題は決して欧米諸国だけではなく、外国籍住民の比率が低いとはいえ、戦前から一貫して国際移民に関わりを持つ日本にとっても重要な課題である。

「単一民族国家」と謳われていた日本は、「多民族国家」であったことは論をまたない。本シンポジウムはそうした「多みんぞく」を抱える「ニホン」の内実を知ること、他者との共生がいかんして可能になるのかを問うと共に、日本とアジアとの関係についての再考を促す。

◎講演者

**川村千鶴子**  
大東文化大学 名誉教授

多文化「共創」の街・新宿の過去・現在・未来から：  
日本の多文化社会のあり方を考える

**川上郁雄**  
早稲田大学 教授

「移動する子ども」という  
記憶と社会

**南 誠**  
長崎大学 准教授

「多みんぞくニホン」の  
歴史と境界文化

◎タイムテーブル／200分

開会の挨拶	5分
趣旨説明	10分
講 演	135分(45分/人×3人)
コメンテーター	20分(10分/人×2人)
ディスカッション	30分

◎会場



◎問合せ先(事前申し込み不要)

多文化社会学部 南誠(梁雪江) 長崎市文教町1-14 TEL.095-819-2926 Isk-minami@nagasaki-u.ac.jp

主催／長崎大学多文化社会学部  
共催／ワンアジア財団寄付講座

長崎大学重点研究課題「リスク社会」を生き続けるための人文社会科学の超域的研究拠点形成

予告

次回シンポジウム

## 「福建から長崎、そして横浜へ」

日時／11月16日(木) 13:30~17:00

会場／長崎歴史文化博物館ホール

基調講演／丁毓玲(泉州海外交通史博物館長)

講演者／野上建紀(長崎大学多文化社会学部 教授) 廖亦陽(武蔵野美術大学 教授)

曾士才(法政大学 教授) 陳天璽(早稲田大学 教授)

主催／長崎大学多文化社会学部・長崎歴史文化博物館・長崎県

Multicultural

Japan